

令和4年度施策評価の概要

長与町では、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする、『長与町第10次総合計画』を定め、まちの将来像に「人・緑・つなぎ はぐくむ ながよ ～幸福度日本一のまちをつくる～」を掲げ、その実現に向けて、「子育て」「教育」「健康づくり」を施策の柱に据え、具体的な施策・事業を推進しています。

令和3年度はこの第10次総合計画の初年度にあたり、計画に謳われた6つの基本目標を具現化するための42の施策及び計画に設定した160の数値目標の進捗状況に関する評価を行いました。

1. 評価の実施について

(1) 評価対象事業

第10次総合計画に定める42の施策と130の施策内事業（具体的な取組）及び160の数値目標

(2) 評価の方法

<1. 施策評価及び施策内事業評価>

はじめに、所管課ごとに施策を構成する施策内事業の評価を、A（計画通り）・B（概ね計画通り）・C（やや遅れている）・D（遅れている）の4段階で行い、これらに数値目標の達成度などを総合的に勘案して、施策全体の最終的な評価をA～Dにより決定しました。

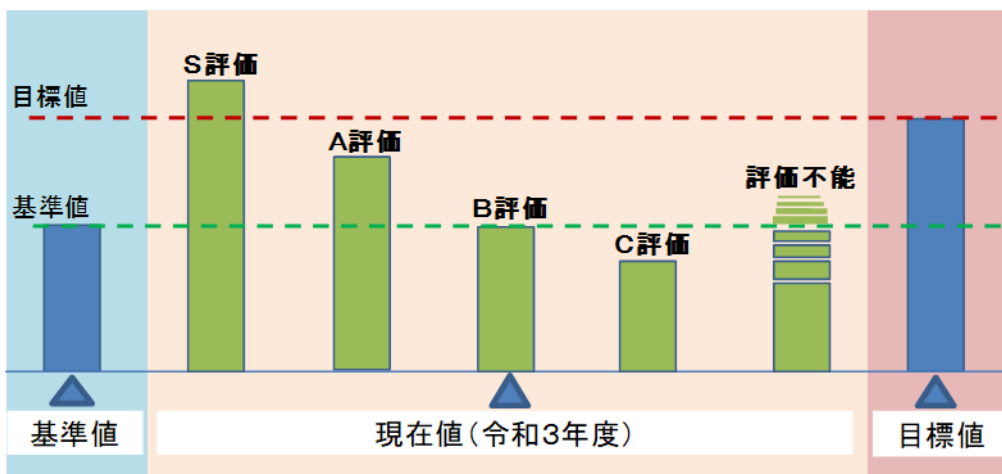
なお、施策や施策内事業の所管が複数課にまたがる場合は、それぞれの課で評価を行ったものを、政策企画課が取りまとめて1つの評価として決定することとしております。

<2. 数値目標評価>

掲げる数値目標の進捗状況を機械的に判定することを目的に、S（現在値が、目標値を超えている）・A（現在値が、基準値を超えている）・B（現在値が、基準値と同水準である（△10%以内））・C（現在値が、基準値より下落している）・－（現在値が、把握できない等の理由により評価できない）の5段階で評価を行いました。

なおここで言う「基準値」とは、第10次総合計画を策定する時点で進捗を管理するために根拠とした数値であり、「目標値」とは、総合計画の期間内で達成することを目的に設定した数値を言います。

数値目標評価のイメージ図

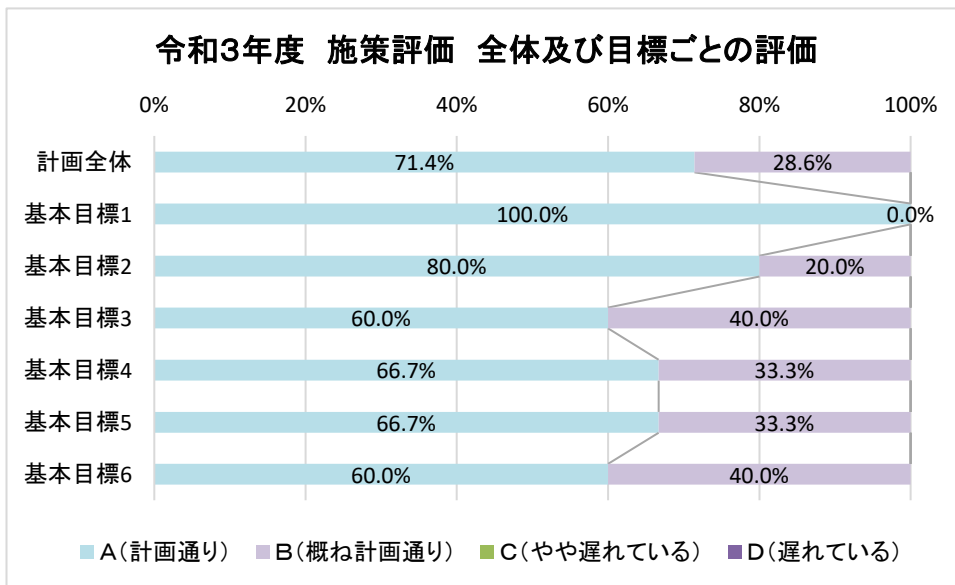
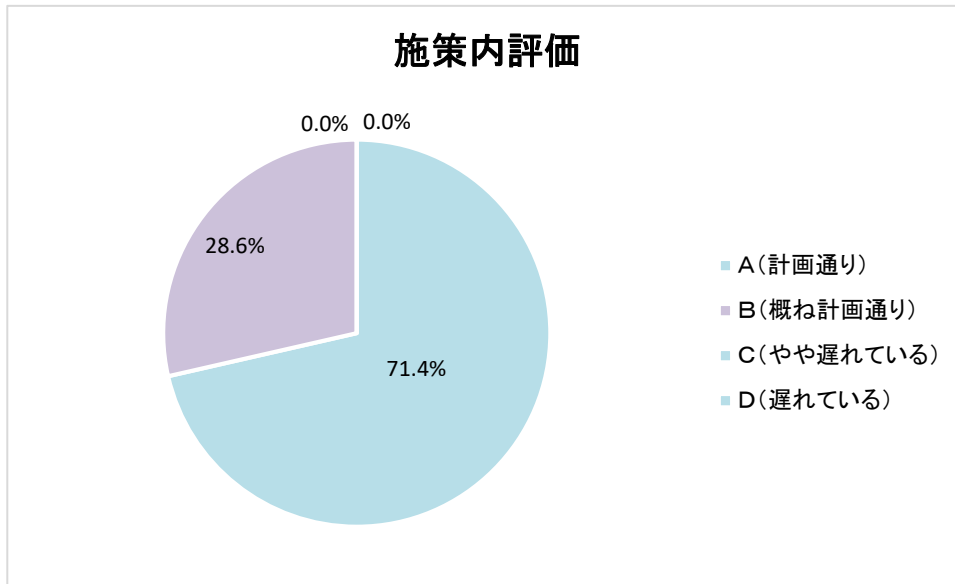


2. 評価結果について

(1) 施策評価

42の施策評価については、30件（全体の71.4%）が計画通り、12件（全体の28.6%）が概ね計画通りとなっており、全ての施策において、計画通り・概ね計画通りに進行しているという結果でした。（下記円グラフ参照）

なお、前年度に引き続き、評価にあたっては、事務事業評価に合わせて所管課へのヒアリングを実施することで、庁内の統一的な観点から評価を行うように留意しました。



第 10 次総合計画基本目標

基本目標1.協働による持続可能な社会

基本目標2.心を育む教育と文化

基本目標3.創造性と活力ある産業

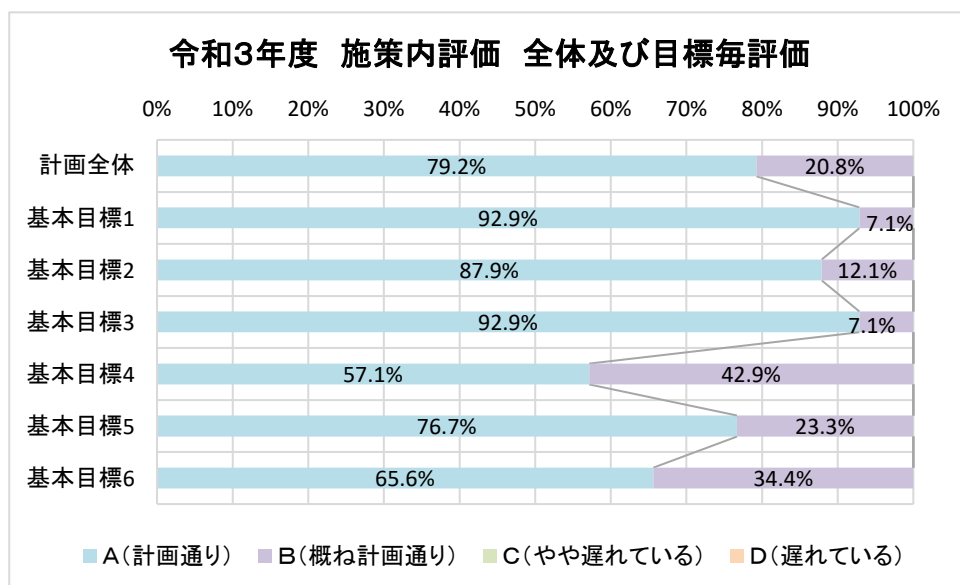
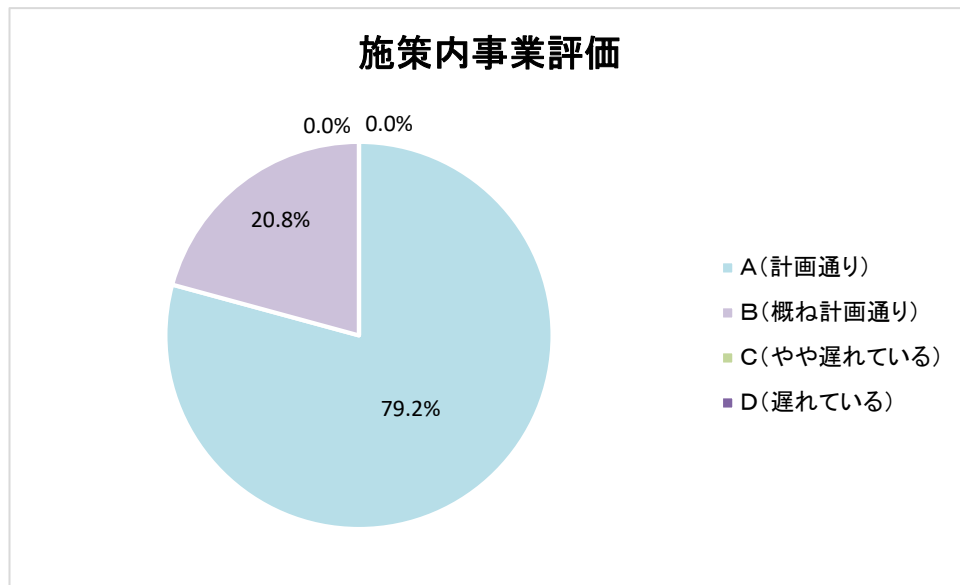
基本目標4.魅力あるまちと新しいひとの流れ

基本目標5.安全・快適・便利な暮らし

基本目標6.ぬくもりのある健康と福祉のまち

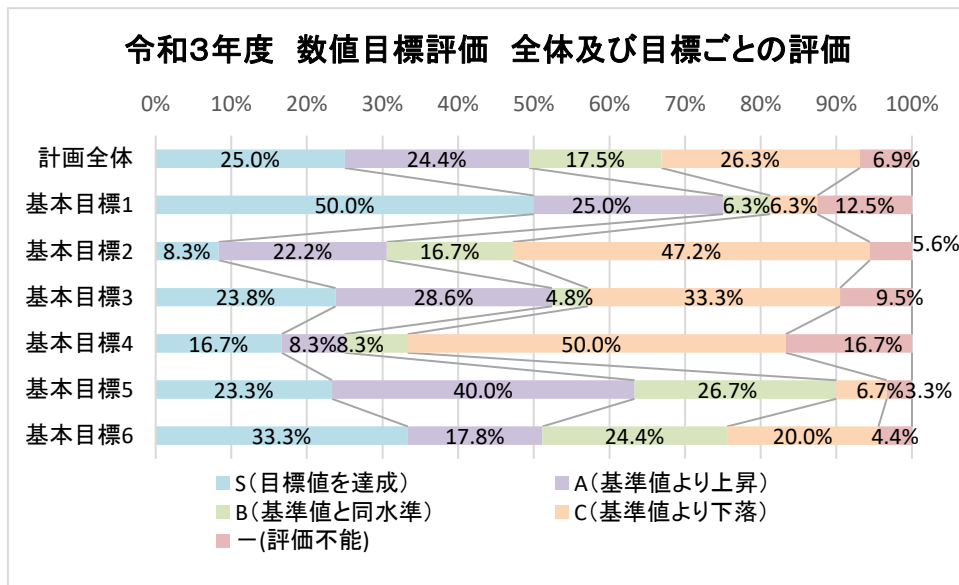
(2) 施策内事業評価

施策内事業評価の130の項目のうち、103の項目（全体の79.2%）が「計画通り」、27の項目（全体の20.8%）が「概ね計画通り」となっており、全ての施策内事業において、計画通り・概ね計画どおりという結果でした。（下記円グラフ参照）



(3) 数値目標評価

数値目標として設定された160の指標のうち、令和3年度に目標値を達成できた指標は40（全体の25.0%）、令和3年度の数値が基準値より上昇していた指標が39（全体の24.4%）となっており、これらを合わせると79の指標（全体の49.4%）が基準値よりも上昇しているという結果でした。



なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や3密回避などの感染対策により、不特定多数の方が集まるイベントがやむを得ず開催中止・縮小となったほか、文化・スポーツ施設の利用者が減少するなど「基準値より下落」または「評価不能」となった数値目標があります。

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%とならないことがあります。